

## JALと千歳市、連携協定を締結

2021年10月18日

第 21015 号

JALは、千歳市(所在地:北海道千歳市、市長:山口 幸太郎)と、双方の持続可能な発展に向けて、10月18日に連携協定を締結します。

JALと千歳市はこれまで、千歳の農産品の6次産業化、千歳でのワーケーションに向けた取り組みなど、地域の活性化を目的としたさまざまな取り組みを行ってきました。今後は、連携協定締結により、モデルツアーの実施などによるワーケーションのさらなる推進、地場産品を活用した商品開発支援、「JALふるさと納税」を活用した情報発信をはじめ、相互人事交流による人材育成、次世代モビリティの実証実験、周年記念行事の支援・協力など、さまざまな領域で連携することで、千歳市の魅力価値を高め、地域の活性化や千歳ファンの拡大を図ってまいります。

### 記

#### 1. 目的

双方の持続可能な発展に向けて、千歳市の魅力価値を高め、地域の活性化や千歳ファンの拡大を図るべく、双方が緊密な相互連携と協力による円滑な活動を推進することを目的とします。

#### 2. 協定・連携事項

##### (1) 千歳市の「交流人口の拡大」に関する事項

- ・商品開発やモデルツアーの実施などによるワーケーションの推進
- ・千歳観光の誘客促進、千歳JAL国際マラソン大会の支援・協力 など

##### (2) 千歳市の「地域産業支援」に関する事項

- ・さまざまな機会を捉えた地場産品の振興と消費拡大
- ・地場産品を使用した商品開発支援
- ・地場産品の販路拡大支援となる新たな輸送ルートの開拓 など

##### (3) 千歳市の「シティセールス」に関する事項

- ・“空のまち”らしさのある納税返礼品の開発と「JALふるさと納税」を活用した情報発信
- ・さまざまな機会を捉えた空港周辺地域の産業活性化を図る情報発信 など

##### (4) 千歳市の「人づくり」「まちづくり」に関する事項

- ・市内小中学校など教育機関の職場体験や社会見学の実施
- ・相互人事交流による人材育成 など

##### (5) 千歳市の「次世代モビリティ」に関する事項

- ・JALが行う次世代モビリティの研究・実証実験などでの連携

##### (6) その他、市及び日本航空の協議により必要と認められる事項

- ・周年事業(空港開港95年・民間航空再開70年記念遊覧飛行)への支援・協力 など

以上

